



News Release

平成 28 年 3 月 30 日
株式会社日本政策投資銀行
代表取締役社長 柳 正憲

近鉄グループホールディングス(株)に対し、 「DBJ 環境格付」「DBJ BCM 格付」に基づく融資を実施 -最高ランクの格付を 4 年連続同時取得-

株式会社日本政策投資銀行(代表取締役社長:柳正憲、以下「DBJ」という。)は、近鉄グループホールディングス株式会社(本社:大阪市天王寺区、取締役社長:吉田昌功、以下「当社」という。)に対し、「DBJ環境格付」および「DBJ BCM格付」に基づく融資を実施しました。

「DBJ環境格付」および「DBJ BCM格付」は、DBJが開発したスクリーニングシステム(格付システム)により企業の環境経営度や防災・事業継続への取り組みを評点化、優れた企業を選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという世界で初めての融資メニューです。

当社は、運輸、不動産、流通、ホテル・レジャーなど多様な事業を擁しており、公益性の高い運輸事業を中心に、各事業活動における環境経営と旅客サービスの安全対策・事業継続活動とを不可分一体のものとして実践しています。

今回の格付では、以下の点を評価しました。

【DBJ環境格付】

- (1) 鉄道施設や設備のバリアフリー化、近鉄エリアキャンペーンによる地域プロモーション活動、幅広いユーザーの視点に立ったサービスなど、環境負荷の少ない鉄道利用を促す仕組みを提供している点
- (2) 中長期の投資計画に基づき、鉄道施設・車両の省エネ化やLED照明の導入など、鉄道事業の環境負荷を一層低減させる取り組みを継続的に実践している点
- (3) 環境経営を実践するグループ会社を増やすべく、横断的な推進組織を活用して、各事業会社の環境目標や教育などの取り組み状況を把握している点



News Release

【DBJ BCM格付】

- (1) 安全投資計画に基づき継続的に設備の耐震化の推進や、津波に関する緊急避難誘導標設置などのハード対策のみならず、避難・救助訓練などのソフト対策を掛け合わせながら事業中断リスクへの安全策を講じている点
- (2) サプライチェーン検討プロジェクトにおいて、二次取引先まで含めた個別調査を実施し、事業継続に不可欠な主要部品を絞り込んだうえで、在庫水準の見直しを検討している点
- (3) 鉄道会社の全社規模の事故・災害対応訓練に、当社およびグループ会社が参加し、有事の行動手順を繰り返し確認することで、グループ一体となった取り組みの定着化とBCPの実効性向上を図っている点

その結果、当社は、「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」であるという格付に加え、「防災および事業継続への取り組みが特に優れている」という格付も取得しました。なお、「DBJ環境格付」および「DBJ BCM格付」の最高ランク4年連続同時取得は、初めての事例となります。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決でお客様の信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、環境配慮型経営や有事における事業継続の推進に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

【お問い合わせ先】

関西支店 企画調査課 電話番号 06-4706-6455